

1. 単元について

対象学年	高等学校 第2学年
学習指導要領	英文を読み、内容を理解し自分の言葉を用いてその概要や感想を他者に伝達したりする。（読むこと・話すこと）
単元名	Lesson 5 What Kids Want and Need to Know about AIDS by Kathy Wilmore ***** READING COURSE ***** 出版
単元目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ A I D S について書かれた説明文を読み、内容を把握し、英語で相互に感想を述べ、意欲的に自分の考えを伝えようとする姿勢が身に付いている。（コミュニケーションへの関心・意欲・態度） ・ A I D S 感染を阻止するための方法について英語で伝えることができる。（表現の能力） ・ 文章の内容を読みとり、特に H I V 感染者の思いを文章の中から理解している。（理解の能力） ・ 新出語句、構文の理解とともに、A I D S についての基本的知識を身に付け、人権尊重の重要性について十分理解している。（言語や文化についての知識・理解）
配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新出語句や意味の分からない表現があっても最初から辞書に頼るのではなく、文脈の中で理解し、全体像を把握しようとする姿勢を身に付けさせる。 ・ 内容理解を英語による思考によって進めていくため、日本語を用いず、英語による Q & A により授業を展開する。 ・ テキストの英文を通して A I D S についての関心を高め、正しい知識を持つことにより A I D S の感染拡大をくい止め、感染者への人権保護意識を高めていけるようにする。 ・ A I D S についての知識を深めるため、教科書に述べられた項目以外にも英語による質問形式で導入していく。
準 備	・ A I D S 感染についての質問カード

2. 本単元の評価規準

	ア コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	イ 表現の能力	ウ 理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
読むことの評価規準	<p>言語活動に積極的、意欲的に取り組んでいる。</p> <p>まとまった内容のある英文を集中して読みとろうとする意欲がある。</p>		<p>ある程度の内容のある英文を読み、情報や作者の伝えようとするを正確に理解することができる。</p> <p>書かれた英語を場面や目的に応じて適切に読みとることができる。</p>	<p>言語や言語の運用についての基本的な知識が身に付いている。</p> <p>英語の学習で取り扱われた文化について理解している。</p>
話すことの評価規準	<p>読み取った内容やその感想を意欲的に相手に伝えようとしている。</p> <p>さまざまな工夫をすることで、コミュニケーションを主体的に続けようとしている。</p>	<p>題材から読みとった内容を自分の言葉で相手に分かりやすく伝達することができる。</p> <p>作品を読んで得た感想や意見を適切に発表することができる。</p>		
単元における評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ・間違えることを恐れず自分の考えなどを積極的に英語で相手に伝えようとしている。 ・相手の意見を集中して聞き、質問や自分の意見を述べるなどして意欲的に相互理解を深めようとする姿勢が身に付いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・うまく表現できないうところがあっても、これまでに学んだ既習の語句や表現で言い換えたり、説明して伝えるなどの工夫をしている。 ・相手に伝えたい自分の主張や考えを適切に表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・初期段階で辞書に頼らず英文の全体像を把握することができる。 ・著者の意図を理解し内容を正確に把握することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・英文の中で使われている語句、構文を正確に理解することができる。 ・A I D S についての基礎的知識が身に付いている。

	ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 表現の能力	ウ 理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
学習活動における具体の評価規準	<p>本文の内容や感想を自分の言葉を用いて意欲的に相手に伝えようとしている。</p> <p>話し手の意見を集中して聞き、理解しようとしている。</p>	<p>新出表現とともに、これまでに既習の知識を積極的に活用し、英文の概要を自分の言葉で表現することができる。</p> <p>英文についての感想や意見を自分の言葉で適切に相手に伝えることができる。</p>	<p>分からない語彙があっても文脈から類推し、概要を把握することができる。</p> <p>英文からA I D Sに関する客観的情報を正確に読み取ることができる。</p> <p>他の生徒の感想や意見を正確に聞き取ることができる。</p>	<p>新出語句や構文などを正確に理解している。</p> <p>* When it comes to ---</p> <p>*動詞+不定詞、動詞+動名詞での意味の異なる表現</p> <p>A I D Sについての基礎的な知識を持ち、登場人物(感染者)の気持ちやその背景を理解している。</p>

4 . 単位時間の授業展開例 (第 3 時間目)

- (1) 本時のねらい
- ・ How can you tell if a person has AIDS?
 - ・ Does a person with AIDS die right away?
 - ・ Is there a cure for AIDS?
- 本文中に提示されている 3 つの質問 (上記) に対する答を的確に読みとり、教科書を見なくても自分の英語で概略を述べるができる。
- (2) 本時の位置 3 / 7 時
- (3) 展開案

過程	学 習 活 動	評価についての詳細・留意点 (内容と方法)	指 導・援 助
前時の復習	<p>前時の復習として確認プリントに記入させる。</p> <p>前時の本文 (P.51 ~ P.52 L.10) について音読させ内容を確認させる。</p> <p>* What does AIDS stand for? * What is HIV? 教科書を見ることなく、以上の二つの質問に対して自分の言葉で答えさせる。</p>	<p>E - 授業後プリントを提出させ評価に加える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 語彙、文法の理解確認を行い評価する。 ・ モデルを与えリピート練習させる。 ・ 主題となる質問項目について答えさせることにより前時の概要を自分の言葉で述べさせる。
導入	<p>オーラルイントロダクション</p> <p>* Do you think you can tell if a person has AIDS from his or her appearance? * How long do you think a person with AIDS can live? * Is there a cure for AIDS?</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・ テーマとなる質問に対して既習事項を活用して自分の考えを正確に伝達することができるか確認し、内容について助言を与える。
展開	<p>本文の英語を聞かせる。</p> <p>英文の内容について Q & A を行い理解を確認していく。</p> <p>本文中での語句、構文を確認する。</p> <p>リピート練習により英文になじませる。</p> <p>教科書を見ず、モデルの音声英語のみに従ってリピート練習を行い英文の定着を図る。</p> <p>教科書を見ることなく、主題となる質問に対して本文の内容に従ってできるだけ詳しく自分の言葉で表現させる。</p> <p>ペア・ワーク 一方が質問を投げかけ、もう一方の生徒が自分の言葉でその質問に答える。 全体発表</p>	<p>U - 活動の観察 英文の概要を正確に把握し、Q & A に正しく答えていくことができるか評価する。</p> <p>I - 本時の重点評価項目 活動の観察 テキストの内容を的確にまとめ自分の言葉で表現することができるかを評価する。 (毎時数分ずつ評価していく。)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ CD をもちいたリスニング指導。 ・ 3 つの Question ごとに区切り、より細部に言及する Q & A によって内容の理解を深めていく。 ・ 英文の定着を図る。 ・ 英文を暗唱させる。 主題の質問に対する答えについて内容を理解し、かつその表現方法の定着を図る。 ・ ペア・ワークで慣れさせ、その後全体の前で数ペアが発表を行う。
整理	<p>チェックプリントにより、空欄補充、新出語句の定着を促進させる。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時の学習事項の確認として行う。

5. 評価の実際と個に応じた指導事例

本時において重点的に取り上げた評価規準

場面：3時間目（全7時間中）

イ - 新出表現とともに、これまでに既習の知識を積極的に活用し、英文の概要を自分の言葉で表現することができる。

* 活動内容

「AIDSについての質問」「答え」という形式で展開されている英文について教科書を見ないで自分の言葉でストーリーの内容をできるだけ詳しく相手に伝える。ペアでの活動から始め、クラス全体の前での発表へと進める。

評価の方法

活動の観察

テキストの内容を自分の言葉で的確にまとめ、表現する事ができているかをペア・ワーク及び全体発表の内容から評価していく。毎時間数名ずつ評価対象とし、誰がその時間の評価対象となっているかについては通知しない。

評価の決定

A, B, Cの3段階で評価を行う。

- ・提示された「AIDSについての質問」に対して相手に内容が十分適切に伝わっている場合「A」と判定する。
- ・教科書を見ることなく自分の言葉で表現する努力がなされており、おおむねその内容が理解され得る場合は「B」と判定する。
- ・教科書を見たり、他者からの援助がなくては進めることのできない場合は「C」と判定する。

個に応じた指導の実際

個の学習状況に応じた手立て

<「AIDSについての質問」に対して途中で適切な言葉が出ない生徒に対して>

(その段階により)

- ・生徒相互間で表現できない部分の英単語等についてヒントを出し合い、発表を継続させた。
- ・生徒間での援助のみでは困難な場合
授業者の側からキーとなる英単語、語句等を提示し発表の継続へと結びつけた。
テキストを開き内容を再確認させ、再度閉じて発表を継続させた。

それぞれのペアの発表を観察・評価するにあたり良い面を積極的に見つけだし認めながら進めていった。教科書の暗記ではなく、内容を相手に的確に伝えるためのコミュニケーションとして活動を展開した。

以上のいずれの場合においても生徒間でヒントを出しながら自立して発表を継続していくことを目標としているため、授業者からの援助は最小限に留めた。

こうした自分の言葉による再現について生徒は回数と共にしだいに慣れ、しだいにスムーズにリプロダクションが可能となっていった。教科書で使われている表現を自分の言葉となるように親しませ活用できる表現方法を増やすとともに、既習表現を活用する事により知識の強化を行い、表現範囲を拡大して定着させていくための演習活動でもある。

単元を通じた継続的な手立て

- ・自分が相手に伝えていきたいことを表現していくために必要な英文を教科書、及びこれまでの既習内容から積極的に活用していく習慣を身に付けていかなるために教科書を閉じて自分の言葉で表現していく活動を積極的に取り入れていった。普段においても教科書の活字を見ないで音声を聞いて英文をリピートするといった内容を取り入れ、単に機械的に英文をリピートするのではなく意識的に記憶させていけるような訓練を仕組んでいけるよう配慮した。

6. 評価から評定への総括

(1) 評価

「リーディング」の評価においては「読むこと」が主となるが、読み取った内容を元に自分の言葉で要約したり感想を相手に伝えたりするための「話すこと」、「書くこと」にも重点を置いた評価を行い、そこから評定を決定していくように評価計画を立てウエイトバランスを設定する。

(2) 評価方法

一斉 定期考査 年 4 回

授業時 活動の観察
小テスト
レポート
授業プリントの確認

(3) ウエイトバランス

以下の評価項目のウエイトに基づいて評定を決定する。

評価の観点	評価方法	配分	
コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	授業による評価（活動の観察）	10%	13%
	授業プリントの確認	3%	
表現の能力	授業による評価（活動の観察）	10%	27%
	定期考査	10%	
	レポート	5%	
	授業プリントの確認	2%	
理解の能力	授業による評価（活動の観察）	15%	30%
	定期考査	10%	
	小テスト	5%	
言語や文化についての 知識・理解	授業による評価（活動の観察）	10%	30%
	定期考査	15%	
	小テスト	5%	

(4) 評価方法について

・ 授業による評価（活動の観察）（45%）

「授業における活動の観察」に高いウエイトをかけることにより、「リーディング」を従来の「読み」といった受け身的なものではなく、他の3技能とリンクし、積極的に活動を通して自己表現していくものとして位置付けたい。そのために「理解」と同等のウエイトを「表現」に置いたウエイトバランスとする。

・ 定期考査（35%）

テキストの内容理解とともに、教科書の内容を用いた表現活動が反映される問題とする内容の理解度を判定するものとして、授業で行っている英文のリプロダクションのウエイトを高く設定し、「学習内容の活用」の意識付けを行う。

・ 授業プリントの確認（5%）

授業の導入と理解を助けるためのものであるが、授業への取組の度合いや演習活動を常時評価する尺度としても重要な意味を持つと考える。

・ レポート（5%）

教科書の英文に関連した内容で主に感想などを作文としてまとめるものである。「リーディング」を4技能の「書く力」とリンクさせ、総合的な能力の育成を目指す。

・ 小テスト（10%）

授業における教科書を使った英単語や暗唱テストを示す。普段の学習活動をより細やかに評価する。学習の意識付けとしても大切である。